

現在と未来を見据え、強い思いをカタチに 法人のさらなる発展を支える新事務所

税理士事務所

TKC会員ご自身が行われた資産活用についてお話を伺いました

スタッフと税理士法人の将来を思い、老朽化した事務所の建て替えを計画された関本会員。
不動産活用における自身の豊富な経験を活かし、
機能的で動きやすい快適な職場環境を実現されました。



TKC近畿京滋会 洛西支部

関本 孝一 会員

※ 本事例は『TKC & D CREARE』89号（2026年6月発行）に掲載された記事を一部修正したものです。



老朽化で限界を迎えた事務所の建て替えを決意

旧事務所の建物は、前面道路を挟んだ向かい側にありました。補修やメンテナンスを欠かすことはなかったのですが、やはり築40年ともなると限界。特に雨漏りには長く悩まされていましたので、「建て替えるなら、高品質の建物を」と、信頼の置ける企業への依頼を考えていました。

当該地は、事務所の駐車場として所有していたのですが、変形地だったので方形地となるよう、隣地のオーナーさまをお願いをして一部分購入。これが新事務所の計画を具体的に進めるきっかけとなりました。

事務所の新しい建物について、私には確固たる思いがありました。それは“余分な設備や装飾は省き、必要十分な事務所であること”。というのも、旧事務所は意匠性が高く、周囲からも評判でした。建築当時の「事務所の器も“顔”になる」という考えがあったからです。しかし、令和のいま、所内外とのリモート打ち合わせや少数精鋭の事務所体制など、時代や働き方の変化に合わせて、その器も変える必要があると考えていました。

税理士法人を長く支える必要十分が魅力の新事務所

私自身、随分前から税理士という仕事の未来に思いをはせており、能力の高い有資格者を中心に、関与先にとって付加価値の高い業務の提供を行えるよう、事務所の体制を整えてきました。さらに、優秀な人材確保や不測の事態に対応するため、不動産経営を行う別法人を立ち上げ、財務面の安定化を図っています。

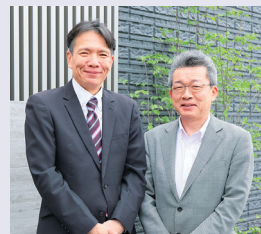
新事務所はこの別法人名義で建築しました。他の所有物件（賃貸住宅）とは違い、「儲からないものに過度な投資はしない(笑)」ですから、今回は予算面に最もこだわりました。建物品質・予算・提案力、そのすべてに答えてくれるのは、日頃よりお付き合いの深い大和ハウスさんだけだと思い、お願いすることにしました。

建物づくりでは、次世代である次男・次女の意見や要望を、いかに予算内で具現化するかを私がチェックする流れで進めていったので、資材高騰の中、大和ハウスさんにも大変ご苦勞をおかけしました。工期も希望通りにご対応いただき、感謝しております。完成して半年ほど経ちましたが、スタッフからも快適だと好評です。



- [1][2]平屋でありながら、色合いや意匠性から存在感のある事務所。植栽にも気を配りました。なお、旧事務所跡地は駐車場として使用されています。
- [3]玄関脇に飾られていた開業時の銘板。
- [4]事務所の奥側に設けたフリースペース。簡単な打ち合わせや休憩に活用されています。窓の外に広がる風景も美しく、お気に入りの場所とされるスタッフもおられるとか。
- [5]落ち着いた色合いでまとめられた執務スペース。スタッフ1人あたりの十分な広さを確保しています。建物の裏側にはJRの線路が通っていますが、高い遮音性から電車の通過音などはほとんど気になりません。
- [6]所内外さまざまな打ち合わせに使用される会議室。
- [7]関本会員お気に入りの所長室。

MESSAGE



- (左) 京都支店 住宅営業所 リブネス課
 席主任 福井 順一
- (右) 本社営業推進統括部 京滋営業推進室
 主任 香山 嘉和

大和ハウスのメッセージ

関本会員には、賃貸住宅2棟を当社で建築していただき、その実績への評価も今回のご依頼につながったと思っております。新事務所は、住宅商品 xevo で建築し、外観・内装ともに高い質感と室内空間の快適性を実現。スタッフの皆さまにもご満足いただいております。

建物情報

- 所在地／京都府亀岡市
- 敷地面積／411.23㎡(124.39坪)
- 延床面積／176.00㎡(53.24坪)
- 完成年月／2025年10月
- 担当：京都支店 住宅営業所

大和ハウス工業株式会社

東京本社 営業推進統括部 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2134
本社 営業推進統括部 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241 Tel 06-6225-7156

www.daiwhouse.co.jp